

風水害・土砂災害対応タイムライン 記入方法

制作 NPO 法人まちの防災研究会 松森和人

← 情報ゾーン → ← 行動者ゾーン → ← 住民行動ゾーン →

1. 情報ゾーン（何時）

各情報や状況の変化を危険度に応じて表示してください

※表示してある色ごとの付箋紙に記入してください

●LEVELについて

危険度（警戒度）を5段階で表示します

- L.1 危険度 低 警戒開始
- L.2 危険度 中 情報収集
- L.3 危険度 大 行動判断
- L.4 危険度 最大 各指示
- L.5 発災状態 台風通過中

●台風について

該当エリアに接近する予想時間を危険度に応じて表示してください

例）上陸2日前…九州など本土に上陸
時間を指します
通過 12 時間前

●降雨について

降雨量などを危険度に応じて表示してください

表示方法：延べ雨量&時間雨量

●水位について

河川水位について危険度に応じて表示してください

- はん濫注意水位
- 避難判断水位
- はん濫危険水位
- はん濫発生（L.5）

●気象について

気象庁などから出される情報を危険度に応じて表示してください

- 大雨注意報・大雨警報
- 洪水注意報・洪水警報
- 強風注意報・強風警報 など

●避難について

行政から発令される避難に関する情報を危険度に応じて表示してください

- （自主避難）
- 避難準備情報
- 避難勧告
- 避難指示

2. 行動ゾーン（誰が・何を）

地域で防災に関係する団体がどの段階（危険度）で何をするのかを表示してください

●主な団体について

- 自主防災会・消防団・民生児童委員・福祉委員
- 自治会・日赤奉仕団など

●表示例 自主防災

役員招集
対応策の検討

消防団

巡回監視
危険箇所等を点検

自治会等

自治会・民生
事前声掛け
要援護者への声かけ

民生
要援護者へ
自主避難の
呼び掛け

LEVEL	台風	降雨・水位	気象・避難	自主防災	消防団	自治会等	住民					
							一般要支援者	避難要支援者	立退き要支援者	立退きエリア	避難エリア	全エリア危険度1
L.1	上陸 2日前											
L.2		延べ 100mm はん濫 注意										
L.3			避難準備 情報									
L.4						要支援者の 避難支援			自主避難開始 通常避難			
L.5	通過 発災										未避難者 駆込み避難開始	

3. 住民行動ゾーン

危険度や状況の推移に応じて、どの段階で誰を、どのようにして避難行動をするのかを表示してください

〔住民のエリア分け〕

立退きエリア（危険度大・危険度4）
土砂災害または浸水などにより、立ち退き避難が必要となる住民

避難エリア（危険度3・2）
原則、避難行動が必要なエリア
逃げ遅れた場合は2階以上の高所へ退避行動

全エリア（+危険度1エリア）
原則、避難行動は必要ではないが、安全を考慮する必要があります

全住民

全支援者

〔避難方法〕

- 通常避難 ⇒ 公民館や小学校へ避難
- 屋内避難 ⇒ 家屋内の2階以上へ避難
- 駆込み避難⇒ 20m圏内への緊急避難
- ※駆込み避難は、タイムラインではL.5での対応となる

注意：シミュレーションを通して、
不具合などがあれば調整又は
変更してください

許可なく複写・転載を禁じます